

法人会ニュース  
**そうそう**

**第27号**

発行所  
 相馬市中村1丁目2番地の3  
 (社) 相 双 法 人 会  
 発行人  
 熊 川 喜 八 郎  
 編集  
 広 報 委 員 会  
 発行日  
 平成 18 年 1 月 1 日



**支部自慢コーナー**

②⑦ 広野町

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載しご紹介いたします。

広野町暮市（くれいち）

例年十二月二十四日に開催される年末の恒例行事。

広野町駅前商店街を会場に正月飾りや日用品、植木など昔ながらの露店約五十軒が出店します。

会場には、正月に向け、しめ縄、ダルマなどの装飾品を買い求める人で賑わい、師走ならではの光景がみられました。

また、会場では寒い冬にはうれしい、町商工会青年部による「おしるこ無料」のサービスや商工会商業部会による「福袋」などが用意され、ひとあし早い正月の雰囲気にも多くの人で賑わいました。



# 謹賀新年



(社)相双法人会会長

熊川 喜八郎

新年明けましておめでとう御座います。

会員の皆様方には、平成18年の新春をつつがなく迎えられた事とお慶び申し上げます。昨年中は、会員皆様方にはひとかならぬ御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

お陰様をもちまして、社団化30周年記念式典、並びに諸事業も滞りなく終了いたしました事を、ご報告申し上げます。これもひとえに、関係諸機関のご指導と会員皆様方の御協力の賜と深く認識をしております。

昨年は、国政では衆議院議員選挙が行われ、一方地方では市町村長の選挙が行われ、政治の流れも変革しております。特に行財政改革が今年もより一層加速するものと思われま

地域経済に於いては、更なる活性化がなされます事を強く期待するものであります。

さて、法人会の基本理念であります「良き経営者をめざす者の団体」として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業及び社会の健全な発展に貢献する事を踏まえまして30周年も一里塚として、今年度も更なる躍進を図ってまいります所存であります。つきましては、今後の相双法人会の目標として

- 一、社会貢献活動の充実
- 二、会員増強の展開
- 三、青年部会県研修会「相双大会」開催

等々を重点項目として参りたいと思っておりますので、特段の皆様方のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。本紙も平成8年に創刊して以来、10年に渡り発刊出来ま



した事も、先人の英知が結集され意義深い事と敬服して、ここに報告申し上げます。終わりに、会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



相馬税務署長

平間 良一

社団法人相双法人会並びに熊川会長はじめ役員、会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、税務行政を取りまく環境が激変する中において、今日こうして円滑に仕事ができいておりますのは、ひとえに貴会のご理解とご支援の賜物であり、心から深く感謝を申し上げます。

二十一世紀も早や六年目を迎えました。相双地域は、我が国の一大電力供給基地であり、港湾や自動車道の更なる整備によって、今後大きく飛躍、発展の可能性を秘めた魅力ある地域であります。スピードあるものが他を制する時代が到来し、企業経営の舵取りは大変難しいものがあるうとは思いますが、相双地域という地の利を存分に活かして、選択と集中を基本に活力ある企業経営と、地域に根ざした

地域のための社会貢献事業をベースに法人会活動に邁進していただきたい、そして地域の輪が大きな輪となって日本全国へ羽ばたいていくことを切に願っております。

平成十七年分所得税等の確定申告時期を間近に控え、改めてのお願いで恐縮ですが、消費税新規課税事業者が無申告とならないよう、また、会員企業の役員や従業員の方々の個人申告も含めた国税電子申告・納税システム(e-Tax)の積極的なご利用を是非お勧めいたします。

もとより税務行政は、納税者たる国民の皆様から負託されているものであり、今後とも皆様のお力添えをいただきながら、国民の皆さんが自動的に適正な申告と期限内納税をしていただけるよう、職員共々自分の仕事に自信と責任を持って、誠実な納税者の視線で、よい仕事を機敏に行つてまいりたいと考えております。貴会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄を祈念して年頭の挨拶といたします。





新地支部長  
横山 光男

新地支部全会員の皆様と共に新年を迎える事ができて、無情の喜びとする次第です。

相双法人会は昭和51年5月に仙台国税局の許可を受け発足して以来その後平成4年10月に新地支部が誕生し現在法人数116社、会員数62社、加入率60%に近づきました。これからも法人事業の公益性のつとより健全な納税業者団体として組織の拡大と強化を図ると共に法人事業繁栄の一助となるよう今日まで活動を続けてきております。今年も大変きびしい年と思われませんが会員全員一致団結をしてのりこえて行きたいと思っております。新地支部法人会のおすすめの飛躍と発展を期するため、税務当局の変わらぬ御指導、御鞭撻と関係機関の一层のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。併せて会員各位のご健勝と事業のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



相馬支部長  
荒井 宏美

新年あけましておめでとう御座います。皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年、不肖私が相双法人会、相馬支部長の任に当たらせて頂きました。しかしあつという間の1年で、何を事業として行ったか記憶に残らないくらいで会員の皆様には大変申し訳なく思っております。

さて、昨年来建設が進んでおります、石川島播磨重工業(株)相馬工場の大規模な建設工事も今年3月には落成し、西東京市にあります田無工場から、順次引っ越しをはじめ、19年3月までに約500名の社員が相馬工場に転勤されて来る様です。また、昨年10月に安全祈願祭を行いました、エム・セテック相馬工場も8月には一部操業を開始し、二〇一〇年までには、4棟もの大規模な工場を建設される様です。社員数も五〇〇名位と聞いております。この事から当地域には関連会社の進出も見込め、今年希望の持てる

年になるのではと思います。年頭にあたり、会員の皆様には幸多い年でありませう様お祈り申し上げます。



鹿島支部長  
竹林 源綱

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には御健勝にて新年を迎えられました事お慶び申し上げます。「長引く不況」と言う言葉はもうたくさんです。昨年十二月東京株式市場は景気の本格回復を期待し日経平均株価も約五年ぶりに一万五〇〇〇円台を回復し、日本経済の復活ぶりを裏付けたものと思えます。今年こそより良い方向に向かって行くことを願って居ります。今年の鹿島支部の事業活動方針ですが、例年の通り会員増強運動、支部視察研修の実施並びに各種講習会への積極的参加等に重点を置きたいと思えます。私も厚生委員会の一委員として、大型保障制度から発生する事務委託費が単位

会の大きな財源となつて居りますので会員皆様の加入率アップに御協力を御願ひ申し上げます。二〇〇六年を迎え気持ちは新たに会員皆様の期待に添える様、役員一丸となり事業に取り組んで行きますので、皆様の御協力の程お願い申し上げます。



原町支部長  
寺島 岩男

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は衆議院解散総選挙があり、第三次小泉改造内閣が発足し、郵政民営化、三位一体による行財政改革が現在進行しております。又、六月には、社会経済情勢の変化に対応するために新社会法が成立し、明治三十二年商法成立以来の大改正ともいわれる、社会制度の見直しが図られました。今年五月より施行予定になっております。県内の景気は緩やかな持ち直しの動きが続いているもの

の、原油価格の高騰、海外情勢等により不透明な状況にあります。市町村合併により、原町市も今年から鹿島町、小高町と合併し、南相馬市となり、新市がスタートいたしました。このような状況の中で、当支部といたしましても、法人会設立の趣旨に則り、近隣地域と連携を図りながら、よき経営者をめざすものの団体として、研修会の開催、会員親睦、地域貢献活動、組織の拡充等、法人会活動に取り組みで参りますので、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。







飯館支部長代理  
**濱田 幸政**

新年あけましておめでとう  
ございます。会員の皆様には  
輝かしい新春をお迎えのこと  
とお慶び申し上げます。平素  
から法人会活動にご理解とご  
支援を賜り厚くお礼申し上げ  
ます。

さて、国内経済は地域や業  
種・規模間に格差はあるもの  
の、緩やかな回復基調が続い  
ていると報じられているが、  
原油価格の高騰や原材料の上  
昇など地域においては、まだ  
まだ厳しい経営環境が続くも  
のと思っております。より一層の  
経営努力に徹しなければと考  
えております。今年も会員相  
互の親睦と未加入法人の加入  
促進をはかり、事業の充実に  
努めていきたいと思っており  
ますので、会員皆様のご協力  
をお願い申し上げます。

最後に会員皆様のご健勝と  
益々のご発展をお祈りいたし  
まして、新年の挨拶といたし  
ます。



小高支部長  
**菅野 萬正**

新年あけましておめでとう  
ございます。昨年の今頃も新  
年のあいさつとして原稿依頼  
がありましたので昨年の新年  
を迎えての時節はどんな経済  
状態だったのかを調べてみま  
した。十七年の新年の時期は

経済が活発化して商売は繁栄  
し生活も明るくなり消費や旅  
行が盛んになり、しかも経済  
が高度成長に湧き、昭和四十  
四年以来の三十六年振りにや  
つて来る大盛運祈願の年と言  
う事でした。略して言へば不  
況を脱して良い年になると言  
う事でした。しかし十七年の  
年を過ぎてみますと一向にそ  
んな感じは無くして私共の努力  
が足りなかったのか、それと  
もこの業界がだめなのか分か  
らなくなりました。そしてこ  
の業界が良くなったのは産油  
国と輸入元売だけで終った感  
じがします。産油国及び石油  
輸入元売が最上流の川上にあ  
ります。販売業は最も川下の  
業界であり北の方の地域は特  
に東北は半年以上も遅れて経  
済が上向くのが通例でありま



浪江支部長  
**松原 靖**

す。今年は昨年の期待した好  
景気になるのではないかと思  
います。  
良い年になると言っても何  
の努力もしないではその恩恵  
に恵まれないと思います。今  
年こそ法人会は会員増強に努  
力し、不況から脱して商売を  
繁栄させて会員の至福を願っ  
て止みません。

あけましておめでとうござ  
います。  
浪江支部の法人会員数をも  
つとのおぼすために、「何か魅力  
あることはないか。」と考えて  
みました。身近な、相双法人  
会会員企業の成功事例を学ぶ  
ことも、大切なのではないで  
しょうか。相双地区の中にも、  
業種によっては日本一を誇る  
ような企業もあり、又、すば  
らしい経営をしている企業も  
たくさんあります。業種は違  
っても、経営に対する考え方  
や実行力は、非常に参考にな  
ると思います。  
これからの企業の成功事例  
研修会を、未会員の方々のお



双葉支部長  
**松本 定雄**

誘いして、会員企業を募る方  
法はいかがでしょうか。  
相双法人会がさらに発展す  
ることをご祈念申し上げます、新  
年のご挨拶とさせて頂きます。

新年おめでとうございませ  
う。昨年は(社)相双法人会も社団  
化三十周年の年で記念式典や  
各種記念事業など多彩な催し  
が開催され意義のある一ヶ年  
でした。明けて今年も培われ  
てきた基盤に立ち更に飛躍の  
年になるよう祈念するもので  
あります。  
さて、国内の景気は緩やか  
に回復基調に入っていると報  
道されていますが、それは一  
部の産業や企業であり私達の  
地域経済はまだ冬の時代  
が続きます。そのような中で  
私達は削減のできる個所はど  
んどん削減し、更に時流を適  
確に捉え先見性のある事業を  
附加していく事が肝要かと考  
えます。  
さて双葉支部も今年も例年  
の通り双葉海水浴場の清掃、  
一泊の研修旅行、各種スポー



大熊支部長  
**太田 宏明**

ツ大会、浪江支部との合同新  
春講演会と新年会、更に本部  
の事業との連繋など活発な事  
業を展開し法人会員で良かつ  
たと満足されるような双葉支  
部をめざし、会員と力を合わ  
せ頑張つてまいります。今年  
もよろしくお願ひ申し上げま  
す。

新年明けましておめでとう  
ございます。  
昨年は、福知山線脱線事故、  
耐震強度偽造問題に代表され  
るような企業理念、モラルが  
問われるような事件が多く発  
生いたしました。  
企業存立に必要な要素は  
「信頼」だと思います。消費者  
からの信頼、取引先からの信  
頼、地域からの信頼等です。  
企業ですから利益を追求する  
ことは当然ですが、順番を間  
違えると取り返しがつかない  
ことになってしまいます。  
昨年の支部総会において、  
支部長に選任され、お引き受  
けいたしました。支部運営も  
やはり「信頼」を第一に考え



たいと思っております。その第一弾として会員間の信頼の絆を強めたいと「視察研修事業」を実施いたしました。今年には会員間の信頼はもとより、地域からの信頼も強められるような事業を展開したいと考えております。

本年もよろしくお願い申し上げます。



富岡支部長  
藤沢 徳義

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え会員の皆様におかれましては、新たな志をもつて一年を過ごされることと存じます。

昨今の経済状況の下、当支部のみならず法人会組織そのものにつきましても、会員の減少、事業運営の見直し等厳しい状況下に置かれております。しかしながら我々は、経営者の団体として、その状況に立ち向かうべく、邁進していかねばなりません。

我々の活動が組織の存在意識と新たな価値を見出すよう、税務当局はじめ、皆様方

のご協力をお願いし新年のご挨拶と致します。



青年部会長  
柳沼 俊成

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、職种的に勝負組とか言われ、マネーゲームのような、IT企業ばかり目立った中、一方では日本文化を見直して甲冑を作っている所へ行政が補助をし見習わせるなど、日本独特の文化を残そうとしている。

また、年後半は経済の伸びもあり、金融関連企業の安定、弱電、鉄鋼、部品製作などの日本国内の技術の高さが要因で製造業が堅調な事から、今年こそは景気の回復を願っております。

さて、青年部会としては法人会連合会青年部会研修会を平成十八年に相双地区で行うことが十七年十月の役員会において決定したところであり

ます。私達青年部会は、第五回大会以来二回目の開催となるわけですが、まだ内容について

は白紙の状態であり、これから何度も全体会議や役員会を開いて決定をしたいと思っております。親会の皆様や女性部会の皆様の御指導や御協力を頂きながら開催に邁進してまいりたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

最後に会員皆様や地域の皆様の繁栄をお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせて頂き



女性部会長  
吉岡 順

新年明けましておめでとうございます。除夜の鐘と共に平成十八年の幕明けとなり、法人会々員の皆様には今年こそはと希望に満ちあふれた新年をお迎えになられた事と心よりお慶び申し上げます。昨

年は若干二十歳のプロゴルフアー宮里藍選手が六勝をあげ、賞金も一億余円を獲得し、アメリカ参戦の予選会も何と二位に十二打差をつけてのトップとなりました。日々の努力、

そしていかなる時も冷静に、常に前を見据えてプレーをしているその姿は経営者にも通

ずるものがある様な気が致します。

常に世の中を見据え、次に何にとり組めば良いのか、不景気の中にも何か得るものがあるのではないかと。

ある営業マンは、お客様の誕生日にプレゼントをしている人は沢山居る、自分は人と違った事をしたかと思いい、お客様が可愛がっているペットの誕生日にペットフードのプレゼントをしてお客様に大変喜ばれたそうです。

「求めよ、そうすれば与えられるであろう。探せ、そうすれば見え出すだろう。門を叩け、そうすれば開けてもらえるだろう。」聖書に出てくる言葉です。頑張りましょう。不況の中にもきつと、改善策となるような何かが見えて来るはず。皆様、今年も宜敷くお願い致します。



大同生命保険  
原町営業所長  
浅井 鉄弥

相双法人会の会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

平素は経営者大型総合保障

制度を中心とする福利厚生制度の推進につきまして、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2005年4月〜2006年3月がキャンペーン期間であります「ビッグハート・ネットワークによるご紹介運動」は、役員さま、会員の皆さまのご協力により、経営者大型総合保障制度の推進に大きな成果を挙げさせていただきます。

① 会員を守る経営者大型総合保障制度の精神  
② 社会に貢献する大きな心

お知り合いの経営者をご紹介いただき、経営者大型総合保障制度の推進にご協力いただいた皆様に感謝し、お礼を差し上げたいと存じます。

推進員ともども制度の普及推進に邁進する所存でございますので、今後ともよろしく

お願い申し上げます。





# 支部だより

## 飯館支部

### 秋風に揺られて

平成十七年度の飯館支部地域貢献事業は、十月三十日(日)に、飯館村公民館駐車場において開催された「いいたて商工まつり」の中で、法人会が地域にとって身近な存在であることをPRするため、ちびっ子たちへの風船プレゼントを実施しました。

当日は、鮭のつかみとりや汽車ぼっぼ、模擬店など賑やかな中、来場した子どもたちにも風船をあげるため、支部役員と会員は朝早くから風船作りを始めると、子どもたちが集まると、作ってはすぐになくなってしまふほどの盛況ぶりでした。ときには晴天の中、秋空に揺られ遠くに飛んでいってしまつた風船もありましたが、午前中には三百個の風船を配り終え、すばらしい支部事業ができました。



## 鹿島支部

### かしま町産業文化祭

#### 「無料ふうせん配付」

本年度も税務広報事業と法人会PR活動の一環として「税の標語入り風船」を5000個と税のマンガ本」を来場している子供たちに無料配付しました。今回は鹿島町商工会製造業部会と共催で自分の名前などが刻印できるアルミプレートと風船の紐に付け、誤って風にとばされないように工夫しました。これからもこのような活動から納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に貢献していきたいと思ひます。



## 大熊支部

### 大熊支部視察研修の実施について

大熊支部視察研修を十一月十五・十六の両日、十四名の参加のもと実施いたしました。研修先は会津若松市でもトップ企業である『桐屋・権現亭』、『お菓子の蔵 太郎庵』と塔のへつり、大内宿を中心とした会津の観光名所、そして中心商店街活性化対策でリニューアルした七日通り(野口英世青春通り)と盛り沢山の内容でした。それでも参加者全員が熱心に研修を行い、また親睦を深め、帰りの車中では来年の研修の話がでるなど、所期の目的を達成し終了することができました。

なお、ホテルでの懇親会は、翌日また続き大いに盛り上がったことも加えておきます。





# (社)相双法人会 社団化30周年記念ゴルフ大会



11月7日・鹿島カントリー倶楽部（鹿島町）参加者71名

▶ 前回優勝熊川会長へ門馬県連  
会長よりレプリカの贈呈



遠路ご参加ありがとうございました



▲ 賞品ご提供、心より御礼申し上げます。

### \* コンペ結果

- 〈個人〉優勝 富沢俊明 (株)東京エレクトロ(双葉)
- 準優勝 佐藤雅一 山佐興業(有)(相馬)
- 第3位 小沢 敦 (有)小沢塗装工芸(浪江)
- 〈団体〉上位4名、ネット合計
- 優勝 浪江支部 (298.4)
- 準優勝 相馬支部 (299.2)
- 第3位 双葉支部 (300.8)

〈敬称略〉



▲ 優勝者 富沢俊明氏 (株)東京エレクトロ双葉町

## 編集後記

年の瀬も駆け足で過ぎて行き、又、新たな年を迎えました。例年の事ながら年頭にあたり、今年はこの事をしてみようと私なりに計画を立ててはみますが、一向に達成されないのが現実であります。会員皆様方には如何でしょうか。昨年末から話題になって居ります建築設計士の詐欺は驚くばかりです。震度五強で崩壊する建物では、安心して暮らしてはいけません。

建築責任施行が信頼を得る基本的問題だどつくづく痛感いたします。

新年号は各支部長の年頭の挨拶でスタート致しました。力強い新春の幕開であります。会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

事務局記





# 税を考える週間

11月16日  
ラフィーフ (原町市)



「税を考える週間」記念講演会



「税を考える週間」記念講演会

第1部 『相馬税務署 平間署長 記念講演会』



第2部  
『利き酒大会』



納税表彰式 11月11日



相双優良法人懇和会総会 11月16日

## 福島県法人会連合会女性部会連絡協議会 第6回会員研修会「南会津大会」



10月26日・27日「下郷町ふれあいセンター」にて  
平成19年の第8回は「相双大会」開催予定

## 福島県法人会連合会青年部会連絡協議会 第13回会員研修会「白河大会」



11月11日「ホテルサンルート白河」にて  
平成18年の第14回は「相双大会」開催